

国土地理院入札監視委員会 第2回定例会議議事概要

開催日及び場所	平成30年12月19日(水) 国土地理院関東地方測量部会議室	
委員名簿	委員長 <small>おおくぼ しゅうへい</small> 大久保 修平 (東京大学 地震研究所 高エネルギー素粒子地球 物理学研究センター長/ 教授) 委員 <small>かわい りゅうた</small> 川合 竜太 (弁護士) 委員 <small>ささき なおひこ</small> 佐々木 直彦 (公認会計士) 委員 <small>おぐち たかし</small> 小口 高 (東京大学 空間情報科学 研究センター/教授)	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成30年9月30日	
抽出事案	6件	(備考)
測量業務	3件	審議案件は別紙1のとおり
内訳 簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	3件	
物品・役務	3件	
内訳 一般競争入札方式	3件	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
①	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	成果不整合地域における基準点改測(愛媛県宇和島地区ほか8地区)	基準点測量	10	10	平成30年7月27日	(株)松本コンサルタント	9,180	78.1%	
②	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	5mメッシュ標高データの作成・更新(浜田地区及び全国地区)	写真測量	1	1	平成30年9月20日	(株)パスコ	21,522	82.6%	
③	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	治水地形分類図の更新(関東・九州地区)	地理調査	4	4	平成30年5月30日	カート・富岡・丹野共同 企業体	18,792	97.7%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
④	一般競争入札方式	国土地理院情報セキュリティ監視及び対策作業	役務の提供等	1	1	平成30年4月2日	ネットワンシステムズ (株)	6,480	64.5%	
⑤	一般競争入札方式	平成30年度防災センター機能強化のためのシステム機能向上業務	役務の提供等	1	1	平成30年5月30日	日本アイ・ビー・エム (株)	28,080	95.1%	
⑥	一般競争入札方式	GNSS連続観測システム(GNSS受信装置更新)	物品の製造等	2	2	平成30年9月6日	(株)トプコン	42,120	49.9%	

意見・質問	回答
<p>1. 定例報告</p> <p>(1) 入札方式別発注案件一覧表 (測量業務、役務の提供等及び物品の製造等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約が多いとの印象を受けたが、昨年度と比較してどうか。 <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(3) 談合情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測量業務の随意契約については、全て災害対応業務です。すなわち災害対応を迅速に行う措置に限り随意契約を認めています。 ・ 物品及び役務については、随意契約の契約件数は増えていません。
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p><測量業務></p> <p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>① 成果不整合地域における基準点改測（愛媛県宇和島地区ほか8地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札価格が安くなった理由が、作業地近傍に会社の宿舍があるとの事だが、他の業者はないのか。 <p>② 5mメッシュ標高データ作成・更新（浜田地区及び全国地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異なる2つの業務を合わせた事により、1者応札となったのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注した業者は、四国に本社があり、四国内に多くの支店を持ち、宿泊施設を有しています。また他の応札業者は、四国外の業者であり、宿泊施設も有していません。 ・ 公共工事の品質確保の促進に関する法律(平成17年3月31日法律第18号)の観点からは、技術力と価格のバランスが取れて業務が執行できる事が一番と考えています。今後も調査基準価格を下回る契約がないよう努力して参ります。 ・ データ公開を当該年度中に実行する為に、2つの業務を合わせて発注いたしました。また小さな業務を合わせる事によって、業者の受注意欲が高まると考えました。 発注については、状況を見ながら分割も含め検討していきます。

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度も同様の発注は行ったのか。行ったのであれば、入札参加者は何者か。 <p>③ 治水地形分類図の更新（関東・九州地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落札しなかった業者の技術点が高いが、受注した業者の技術点は標準と考えてよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区は異なりますが、昨年度も同様に発注しており3者応札しています。また、参加可能な者は5者以上存在すると推定しています。 ・ 受注した業者の成績は、問題の無い点数と考えています。
<p><物 品・役 務></p> <p>一般競争入札方式</p> <p>④ 国土地理院情報セキュリティ監視及び対策作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書を取得したが応札しなかった者に対し、その理由を聞くなどの1者応札の解消に向けた取組は評価すべき取組みと思われる。 <p>⑤ 平成30年度防災センター機能強化のためのシステム機能向上業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加資格に過去3ヶ年における受注実績を求めているが、3ヶ年では期間が短く入札参加を阻害しているのではないか。 <p>⑥ GNSS連続観測システム（GNSS受信装置更新）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このレベルの製品を作製出来る者は何者程度いるのか。 ・ 過去の応札等の状況はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加資格を有する者は、少なくとも5者把握しており、入札参加を阻害する要件とは考えていません。 ・ 3者把握しています。 ・ 平成28年度より発注しており、平成28年度は、仕様書受領が3者で応札が2者です。また平成29年度は、仕様書受領は4者で応札が2者でした。
<p>3. その他の審議</p> <p>○ 設計変更に伴う契約変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>○ 「入札談合に関する情報等の判断に係る標準取扱基準」の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	